

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農産園芸課長 森上 浩平	電話番号	0852-22-5123
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	花ふれあい公園事業
目的	(1) 対象 県民 (2) 意図 あらゆる世代が四季を通じて「島根の花」に親しみふれあえる暮らしを実現するため、花に興味をもつ機会を増やすとともに、花のPR及び花ぎの消費拡大を図る
事業概要	県民に対し、花ぎに親しむ機会の提供や普及PR・消費拡大の啓発等を行うため、花ふれあい公園「しまね花の郷」を管理運営する

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 入園者数	目標値		65,000.0	60,000.0	60,000.0	60,000.0	人
	式・定義 年間入園者数	取組目標値						
		実績値	63,421.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
	式・定義	取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	92,394	85,315
うち一般財源 (千円)	92,394	85,315

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

しまねの花振興品目を中心とした企画の充実、1年を通じて楽しめる植栽や展示、他の施設との連携等による集客を行った。27年度は「福祉理念に着眼した公園づくり」に取り組み、様々な利用者に花に触れあってもらえるよう、体験花壇を3次にわたり改修した。概ね目標入園者数の集客となり、花の普及・啓発に寄与した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

年間パスポート利用者が制度開始以来過去最高となり、長期運営に欠かせないファン獲得やリピート率向上に寄与した。また、各種メディアを活用し幅広い広報に努め認知度の向上をはかった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
施設の経年劣化による修繕必要箇所が増加している。来場者は出雲市近郊の住民が中心となっており、県内他地域や県外からの来場者が少ない。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
修繕は長期保全計画により実施されるが、修繕箇所は増える傾向にあり、予算が追いついていない状況。集客数の増加に向けては、新しい取り組みやより効果的な広報を行い、認知度を向上させることが必要。
- ③原因を解消するための「課題」  
予算確保による修繕の早期実施。より多くの来場者に花の魅力を感じてもらえる施設とするための取り組み実施。広報活動の強化によるより広範なエリアへの情報提供。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

破損および要修理箇所のごまめな情報提供による修繕の必要性共有と早期実施。観光協会や周辺施設等と連携したイベント開催やSNS等様々な手法を用いた広範な広報活動の実施。

9. 追加評価（任意記載）

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。